



LISZT FRIENDS

特定非営利活動法人リスト音楽院友の会 会報
NO. 9

2012年 2月 10日発行
発行元：
特定非営利活動法人 リスト音楽院友の会

〒500-8879 岐阜市徹明通1丁目9番地
TEL 058-264-1501 FAX 058-262-8011
E-mail: kota@lizstfriends.com
URL: <http://www.lizstfriends.com>

コンサートを振り返って



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年は、2つのコンサートのスタッフとして、また8月に行われたスペシャルコンサート「ハンガリーからの煌めき」では出演者として、当会の事業に携わらせていただき感謝申し上げます。

8月のコンサートでは、ヴァイオリンの松本麻里子さん、チェロの新井康之さんと共演させていただきました。本番4日前に松本さんは岐阜でのコンサートがあり、実質2日間で短期集中の合わせでしたが、そこはさすが、オーケストラの奏者としてご活躍されているお2人の力量に

助けられ、無事終わることができました。

自身の反省は尽きませんが、多くのお客様にご来場いただき、全体としては充実したコンサートになったことを嬉しく思います。末筆ながら、本年も当会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

演奏家会員 ピアニスト 近江秀崇

主催コンサート事業一終了報告

♪ ～リスト音楽院ファスティバル2011～
煌めく夏の夜 ピアノとヴァイオリンのコンサート

2011/8/5 [金] 7:00pm開演

真鍋記念館クララザール(岐阜市本郷町)

出演：大藪祐歌(ピアノ)、松本麻里子(ヴァイオリン)



毎年夏恒例「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」の期間中、主催コンサート「リスト音楽院フェスティバル2011」を8月5日(金)、岐阜市の真鍋記念館クララザールにて開催しました。

今年の出演者は、沖縄在住の大藪祐歌(ピアノ)さん、フィンランドから一時帰国中の松本麻里子(ヴァイオリン)さんのお二人。当初、岐阜での公演は、企画になかったのですが、岐阜でも開催したらどうか、との声の理事会であり、それではと、名古屋公演にもご出演の松本さんと、名古屋ご出身の大藪さんをお願いしました。お二人の共演は初めて。松本さんは、ご実家の山口から沖縄まで出かけ、みっちり合わせ練習をしたこと。

プログラムは、まず松本さんのヴァイオリン・ソロで、テレマンの12のファンタジー第2番から始めました。どっしりとしたバロックの無伴奏曲。見事に引きこなしていました。続いて、大藪さんのピアノ・ソロで、リストの忘れられたワルツと、ワーグナー＝リストのイゾルデの愛の死。技巧的で重厚な曲でした。そして前半の最後は、大藪さんと松本さんの共演でヴェニャフスキーのファウスト・ファンタジー。まさに華麗で幻想的な曲でした。おふたりの微妙なかけひきが面白かったとの評判でした。

後半は、ピアノ・ソロでリストのオーベルマンの谷。そして最後は、共演でブラームスのヴァイオリン・ソナタ第2番。メインにふさわしい名曲でした。アンコールには、華麗なバルトークのルーマニア民族舞曲。これもまた名演でした。

来年の「リスト音楽院フェスティバル2012」は、ブタペスト在住のヴァイオリニストをお招きする予定です。どうかお楽しみに。

♪ NPO 法人リスト音楽院友の会
スペシャルコンサート Vol.2
ハンガリーからの煌めき

2011/8/9 [火] 7:00pm開演
電気文化会館ザ・コンサートホール (名古屋・伏見)
出演: 近江秀崇 (ピアノ)、新井康之 (チェロ)、
松本麻里子 (ヴァイオリン)
曲目: バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より シャコンヌ
ローザ: チェロとピアノによる二重奏 作品8
リスト: 2つの演奏会用練習曲
リスト: ハンガリー狂詩曲 第2番
メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲 第2番

昨年2月18日の佐部利 (P f)・西尾 (V n)・古川 (V c) のトリオによるスペシャルコンサートに引き続き、V o l . 2として、近江 (P f)・松本 (V n)・新井 (V c) のトリオによるコンサートを開催しました。松本さんは、岐阜から名古屋に移動して、新井氏宅の練習室での初の合わせ練習。メインのメントリの2番は、三人とも初の演奏とのこと。実質2日の練習で本番を迎えました。

まずは、松本さんのソロでバッハのシャコンヌ。ヴァイオリンの響きとテクニックはさすがでした。続いて、近江さんと新井さんのローザ。映画音楽の大御所ですが、初めて聴く作曲家です。

後半は、近江さんのピアノ・ソロでリストの2曲です。リストのハンガリー・ラブソディは、華麗なテクニックでたいへん愉しめました。

最後のメインのメントリ2番は、有名な1番より演奏される機会が少ないのですが、1番に勝るとも劣らない名曲でした。先の佐部利トリオがメントリ1番だったので、それでは2番にしよう、自然に決まったとのこと。3人のすばらしい熱演でした。

出演者それぞれのMCもあり、愉しめた一夜でした。

打上げを近くのイタリア・レストランで済ませると、もう11時。またのトリオ結成の機会を約して、お開きとなりました。



主催コンサート事業一実施予定
♪ NPO 法人リスト音楽院友の会
スペシャルコンサート
Vol.3

2012年2月24日 (金) 19時開演
電気文化会館・ザ・コンサートホール (名古屋市伏見)

出演: 原田綾子 (ピアノ)、唐沢安岐奈 (チェロ)、
唐沢洋子 (ヴァイオリン・ゲスト出演)、

曲目: ハイドン: ピアノ三重奏曲 第39番 ト長調
作品73-2 Hob.XV-25
「ジプシートリオ」

ショパン: チェロ・ソナタ ト短調 作品65
ヘンデル=ハルボルセン: パッサカリア

リスト=カサド: 愛の夢

モンティ: チャルダッシュ

リスト: ピアノ三重奏曲 トリストピア
(オーベルマンの谷) より

2011年度最後の主催コンサートは、読売交響楽団のチェロ奏者で、ぎふ・リスト音楽院マスターコース第1期生の唐沢安岐奈さん、その奥様でヴァイオリニストの唐沢洋子さんがゲスト出演。そして、名古屋・春日井市在住の原田綾子さんのトリオによるコンサートを開催します。唐沢さんは名古屋出身、奥さまも三重県桑名市出身と3人とも地元でのコンサートです。もちろんこのトリオによる演奏は初。どのようなアンサンブルを聴かせていただけるのか、たいへん楽しみです。

曲目は、ハイドンのピアノトリオから始まり、唐沢・原田のショパンのチェロ・ソナタ。唐沢チェロの聴かせどころです。後半の最初は、ヴァイオリンとチェロのカップルで登場。パッサカリアを聴かせてくれます。続いて、ヴァイオリン曲。親しみのある、愛の夢とチャルダッシュ。最後に有名なリストの「オーベルマンの谷」をピアノ三重奏で。また一味違った、リストのオーベルマンの谷が聴けます。

どうか、皆様お誘い合わせの上、ご来場くださるよう、お願い申し上げます。

2012/2/24 FRI.
6:30 OPEN
7:00 START

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

NPO法人リスト音楽院友の会
スペシャルコンサート VOL.3

ピアノ 原田 綾子
ヴァイオリン 唐沢 洋子
チェロ 唐沢 安岐奈

HAYDN: ピアノ三重奏曲 第39番 ト長調 作品73-2 「ジプシートリオ」
CHOPIN: チェロ・ソナタ ト短調 作品65
HANDEL-HALVORSEN: パッサカリア
LISZT-CASSADO: 愛の夢
MONTE: チャルダッシュ
LISZT: ピアノ三重奏曲 トリストピア (オーベルマンの谷) より

全席指定
一般 ¥3000
大学生以下 ¥1000

BUDAPEST
LISTZ ACADEMY FRIEND'S
PIANO TRIO CONCERT





PIANO
AYAKO HARADA
VIOLIN
YOKO KARASAWA
CELLO
AKINA KARASAWA

お問い合わせ: リスト音楽院友の会 事務局 TEL: 052-264-1101 FAX: 052-262-2011 E-mail: listz@listzfriends.com
ホームページ: http://www.listzfriends.com からチケットの取申し込みができます。

主催: 読売交響楽団制作法人 リスト音楽院友の会 実行: 電気文化会館ザットセンター TEL: 052-204-1138
後援: 名古屋ハルパー共済連合会、名古屋、心通財団法人名古屋電気文化振興事業部、設立: フライナイト TEL: 052-972-0430
協賛: ハルパー共済連合会、読売ハルパー共済連合会、名古屋、心通財団法人

2011年度 終了した後援コンサート

秋山哲也ピアノリサイタル

2011年8月27日(土) 17:30開演
カワイ表参道(東京都)
出演: 秋山哲也(ピアノ)

菅野雅紀ピアノリサイタルvol. 2

ーリスト生誕200周年に寄せてー
2011年8月30日(火) 19:00開演
電気文化会館ザ・コンサートホール(名古屋市・伏見)
出演: 菅野雅紀(ピアノ)

室内楽コンサート ～リスト音楽院の思い出～

★2011年9月3日(土) 19:00開演
浜松アクトシティ 音楽工房ホール(静岡県浜松市)
★ 2011年9月4日(日) 19:00開演
5/R Hall & Gallery(名古屋市・今池)
出演: 上杉典子(ヴァイオリン)、門野由奈(ヴァイオリン、ピ
オオ)、立川訓子(チェロ)、森京子(ピアノ)、星野智也(チ
ェロ)

大藪祐歌ピアノリサイタル ～リスト生誕200年を記念 して～

2011年11月26日(土) 19:00開演
シュガーホール(沖縄・南城市)
2011年12月21日(水) 19:00開演
電気文化会館ザ・コンサートホール(名古屋市・伏見)
出演: 大藪祐歌(ピアノ)

桑原怜子ピアノリサイタル ～リスト生誕200年記念～

2011年12月18日(日) 14:00開演
舞鶴市商工観光センターコンベンションホール(京都府舞鶴
市)
出演: 桑原怜子(ピアノ)

和田佳律瑠ピアノリサイタル

作曲家シリーズ第1回・リスト～リスト生誕200年記念
～
2011年12月25日(日) 14:00開演
ムーブ町屋・町屋ホール(東京都荒川区)
出演: 和田佳律瑠(ピアノ)

これからの後援コンサート

HZMが贈る「3つの協奏曲」vol.3

2012年3月4日(日) 15:00開演
スタインウェイ・サロン東京 松尾ホール
(東京都千代田区)
出演: 新井彩香(ピアノ)、金澤亜希子(ピアノ)、
近江秀崇(ピアノ)

菅野雅紀ピアノリサイタル vol.3

プレリユードシリーズ
2012年3月18日(日) 14時00分開演
hakuju hall 白寿ホール(東京都)
出演: 菅野雅紀(ピアノ)

2011年度 通常総会議事録

日時: 2011年8月5日(金) 午後5時30分より
場所: 真鍋記念館クララザール 会議室
出席者: 28名 (決委任者を含む)

審議事項:

- (1) 議長選任の件
- (2) 議事録署名人の選任の件
- (3) 役員選任に関する件
- (4) 平成23年度の事業計画並びに収支予算について
議事の経過の概要及び議決の結果:
(1) 議長に太田 功正が全会一致で選出された。
(2) 議長より、議事録署名人を奥住 信治、浅野 諭を選
任したいとの提案があり、承認された。
(3) 矢島 潤一郎より役員の選出について提案があり、理
事に矢島 潤一郎、古川 展生、横森 俊雄、太田 功
正、浅野 諭、新井 康之、佐部利 弦、監事に奥住
信治を選出した(全員再任)。また、そのうち矢島潤一
郎が会長に、古川 展生と横森 俊雄が副会長に、太
田 功正が事務局長に選ばれた(全員再任)。役員報酬
については、「なし」とした。なお、任期は平成23年
9月1日より平成24年8月31日までの1年間とし
た。
(4) 矢島 潤一郎より、平成23年度の事業計画並びに収
支予算の提案があり、全会一致で承認された。

2011年度 第3回理事会議事録

日時: 2012年1月13日(金) 午後6時30分より
場所: 事務局3F

出席者: 矢島潤一郎(会長)、太田功正(事務局長)、浅野
諭(理事)、佐部利弦(理事)、奥住信治(監事)
委任状 横森俊雄(副会長)、新井康之(理事)

審議事項:

- 1) 2011年8月5日クララザールで開催のリスト音楽
院フェスティバル2011と8月9日電気文化会館で
開催のスオエシャルコンサートVol.2の収支決算書
が事務局長より提出され、全員一致で承認された。共
に赤字ベースであったため、今後一層役員を中心とし
てチケット販売に力を入れるよう合意した。
- 2) 来る2月24日(金)電気文化会館(名古屋)で開催
のスペシャルコンサートVol.2の準備状況が事務
局長より報告があり、ヴァイオリンの出演者に変更が
あり、唐沢安岐奈さんの奥さまである唐沢洋子さんが
ゲスト出演し、それに伴って曲目の一部も変更する旨、
事務局長から報告があり、話合いの結果承認された。
- 3) 2012年度の主催コンサートは、8月2日(木)に
真鍋記念館クララザールで開催し、出演はブタバスト
在住のヴァイオリニスト・井上奈央子さん、ピアノは
井上さんが良く知る大田佳弘さんのゲスト出演が承認
された。
- 4) 2013年の3月には、奈良市にて、岡ひとみ(Pf)
さんと古川展生(Vc)の共演、引き続き舞鶴市にて、
桑原怜子(Pf)と古川さんとの共演の、2公演を開
催する予定であることが報告され、承認された。

八月の演奏会を終えて



昨年夏に岐阜・名古屋での演奏会の機会を頂いた事、何より素晴らしい奏者の方々との新しい出会い、懐かしい再会、そしてあたたかい拍手で迎えて下さった聴衆の皆さまに大変感激し、また感謝の気持ちでいっぱいです。

二つの演奏会を終えて今思うに、音楽を作り上げるその過程において『音楽の不思議を体感する時』を過ごす事が出来たのではないかと改めて思います。

リハーサルにおいて、音を出した、あるいは演奏をし始めたその瞬間からお互いにその人の人柄、それまでの経験、音楽表現における趣味趣向を自ずと感じ取る作業がごく自然に同時に行われ、そこから化学反応とも言える何かが、ふいに起こる事によって『私達の新しい音楽』がそこに誕生します。同じ言語で思考し、それを伝達する能力を持つ者同士ではあるけれども、言葉ではない音と音での会話が成立する、ある意味特殊な言論空間に存在しているから、私達は音楽家であると言えるのではないかとも思うに至るのです。『音楽は国境を越える』と言われる由縁も実はそこにあるのだと思います。

ハンガリー語がまったく話せない状態で海を渡ったまだ若かりし頃の私が、無事にブダペスト、リスト音楽院を卒業し、まったくドイツ語の出来なかった私が、ハノーバー、Musikhochschule で学び、またフィンランド語の存在すらろくに認識の無かった私が、現にこうしてフィンランドでお仕事を頂いて働いているわけですから。音楽は、意思伝達のひとつのツールであると身をもって感じています。

言葉だけでは表現しきれない音の世界に（もちろん各言語と各国の音楽は密接に関係しているわけですが、それについて書き始めると長くなるのでここでは省略します…） こうしていただけることを幸せに思うと同時に、陰ながらいつも応援してくれる両親と兄弟、夫と夫の家族の寛容な理解を本当にありがたく思います。

最後に、リスト音楽院友の会、および会員の皆さまの今後更なるご活躍を、ここヨーロッパ最北の地より心からお祈り申し上げます。またお会いする日を楽しみに…。

ヴァイオリニスト 松本麻里子

